

磐城時報

石城地方新聞
編輯者 田中 弘成
印刷所 加納活版所
發行所 磐城時報社
電話 一四四
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
訂費 一月一元 三月三元 半年五元 一年十元
日刊(日曜、祭日)休刊

石城地方の税金 古今未曾有の滞納

滞納率 八割六分 競賣にしても入札者なし

石城地方農村は不況の反映から鈴木三縣議の慰勞會を開く事に血のじみ出る様な深刻な歳晚なつた。

を現出して居り五町縣稅務派出張所では未納徵收に大苦となつて居るが、依然未曾有の不成績振りてその主なる町村は十月末日までに

磐中四年生が 体操時間中に盗む

と云ふ平均約八割六分の未納入状態にあるといふ、数字を示して居るが之が滞納者は概して石僅に二圓五十錢で差押へに附せられて居るが同所でも之を競賣した處一名の入札者がなかつたといふ話には一層驚かされて居る。

石城政友会 三縣議慰勞

石城郡政友會では二十五日午前十時から幹部會を開き幹事長鈴木辰三郎氏が縣政友會支部の幹事長になつたのでその後任について協議した後山崎、古河、

相農校校納會

相馬農學學校にては來る二十日校納會を執行する。

八澤の火事

八澤村字南海老浦敷権四郎方から十日夜九時半頃火災し住宅二棟を全焼した損害五百圓原因取調中。

はしか流行

方にては天候不良のためかはいしが大流行、各家庭の兒童をこころ失傷者三、自殺補助一、窃盗一、二六、強盜侵入一、詐欺四、遺失物横領一、賍物故賣一、古物違反六、外即決處分八。

木炭品評會

原町、浪江、富岡、平、楢田の五營林署聯合で來る十五日双葉郡浪江營林署土場に於て開催する。

消防組頭會

中村署管内消防組頭會は十三日正午から同署樓上に開き一月六日縣下一齊に行はれる消防デー實施その他に關し協議する。

電線切り取る

郡中村大字中野相田忠三一は同町柳の馬場附近の電線を切り取り十日中村署に捕はれた。

不連續きの雇人 横領して告訴さる

震災で裸になつた曹長

平町字古鍛冶町十二番地木炭商會川安次方雇人菅原保則(三九)は賣上金中から三十日を横領したので平署に告發された。

菅原保則は歩兵特務曹長で除名は九日夜同村某家に入營の祝隊後東京市の某會社に勤め相酒を馳走になり歸途カフエール當の地位に在つたが大震災の元にては俺達は國家の干城であらぬ身一つとなり其後北海から少一位置を働いても國道方面に赴いたが思ふやうでなく去る昭和三年平町に來り坑夫菅野直榮(三五)を滅多打ち前記會川方に雇はれてゐるも取調中。

一日二十四錢で 若い娘が炭運び

山間方部不況の現象

石城郡三坂村地方から生産した婦女子數十名が運賃稼ぎに出れて來てゐるが各山とも絶對非募集主義であるためこの地にも三里の山道を登越東線川前驛つ背負つて往復三回、平坦な道まで搬出一俵十錢の運賃であつた道路まで運出し更にそれからだが、最近山間の不況から若やせうまで背負ひ川前驛まで行者同十が交替に平町に出で炭賣出した。

最近の商人に與ふ

「値引の癖睡劑に酔へる商人を救済するに困難なり」他人が製造して其の價格を附せる商品自分勝手に値段を附する習慣は商人の進歩發達を妨げ自分の利益を減却するものなり、斯る商人は速に其の惡習慣を除去せざる可からず。若し此の惡習慣を除去し得ざる時は直に其の地位を去りて競賣人となる可し、競賣人ならば他に害を與へずして自己の欲する如く物品の價格を定め得べし。

商品として最大なる欠点は既定の價格にて商品を賣る才幹を有せざることなり。「某某の店にては此の品は何程の價格なり」と云ひて格安に買はんとする狡猾なる客は到る處にあるものなり。客店頭に有りて所賣の商品を見「他の店にては此れと同一品は御身の店の値段よりも一層廉價なり」と云ふも濫りに其の言を信じて買ふ事勿れ。此れ狡猾なる客が慣用手段なり、斯る語を發する客に會ふも心を動かさずして品質の優劣なる事を説き決して客の術中に陥ること勿れ、如何なる商品と雖も優劣の商品を他店よりも格安にて仕入得るものに非ざるのみならず商品に格安は必ずしも品質の劣るものなり、優秀の商品を相當の價格にて親切を旨とし確實に賣り居らば同業者は如何なる策を用ひるも客は如何なる言を發するも決して心を動ぜざして可なり商賣は繁昌すること疑なし。

善良なる客人は決して他店より高價なる商品とは云はず若し甲商店の商品、乙商店より高きときは斷かに甲店をよりて乙商店にて所賣の商品を購ふものなり、是れ經驗に基ける事實なるを以て商人の特に記憶し置く可き事なり。

溜池から 死体浮上る

相馬郡大藪村北原字折澤溜池に死体の浮き上つてゐるのを十日午後三時頃通行人が発見警察署に届出で猪又醫師と檢視したが死後二三日経過したる様にて普通の服装で年齡五十七八のいが栗頭に刈つてゐる男で所持品などなく顔面に少々摺り傷あり頸に手拭を巻きつけてゐたが、何處の何者とも判明せぬので大藪村役場で假埋葬に付した。

男女混浴 告發さる

石城郡磐崎村大字上湯谷白鳥嶺泉長山ヨチ方では男女を混浴させてゐたのを發見され平署橋谷田部長に告發された。

失業者窮余の一策 飴賣り増加

磐城各炭礦では全國的の送炭制限により急激なる採炭減を生じこれにともなふ失業者は全山に滿ち最近では五百名を突破してゐる、所へ北海道方面の炭礦の失業者が炭末に向ひポック流れて來てゐるが各山とも絶對非募集主義であるためこの地にも安住の地なく地元失業者と共に廢坑を利用して雨露を凌ぎ失業業者十が交替に平町に出で飴賣出した。

夫の死を悲觀

石城郡内郷村大字宮篤太郎繼母大久保ツヤ(六八)は九日夜夫徳次(七〇)が死んだのを悲觀して家出した。

鐵道のみで ホー三萬圓

不景氣々々といふ聲の裏にもホーナスの聲を聞くも蘇生した様な氣持ちになる平町の各官廳會社のホーナスは第一番の皮切が十五日頃の鐵道方面で本年度の半額では一割減位を豫想してゐるがそれでも同様に約三萬圓以上のホーナスは來るらしく同僚關係の従業員は機關車、保線區、檢車を合せて六百五十九名を算し内判任官八十名、雇員三百名、傭人二百七十名で大体十一割位傭人が八割の見込み。

平五 山野邊藥局

の薬「チクノール」

二葉印刷所

平 町仲町・電話一九三番

毒校 皮膚病 淋病 婦人病 専門

腸胃 十二指腸病 腸胃病 胃腸病 専門

内科 村松

院醫科 町野平

(七〇一話電)

佛國マルソー會社元詰

生葡萄酒

マルソー・アランク・白 1.10

マルソー・ルージュ・赤

良品にして安價賣行飛ぶが如し

西村屋藥局

冬のサロン

暖房製置も充分に

暖かいお飲物

暖かい御料理

そして芳醇のカクテルを

洋食通の季節になりました

ドーゾ御来店を……

サロ ン

平町 電三五二番

内科 小兒科 (入院應需)

花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町

電話平國五〇七番

ストロップはフクロク

ストロップを御選定下さい

(一)最も安い石炭で最も良く燃ゆるストロップはフクロクの右に出づるものはありません

(二)石炭商の立場より各種のストロップを厳密試験の結果始めて理想的フクロクストロップを見つけたりました

御希望の御方へカタログを持参して御説明申上ます


何卒御下命の程を

平 停車場前

福島縣總代理店 **阿部石炭商店**

電話二三七番

嚴冬征服の王者



君はい、型の洋服を求められたね。跳だね？いや君コレは四丁目マルトモビル停車場通で販賣中のソレ正札堂



ルビモトルマ目丁四

堂札正

耳鼻咽喉科専門

應入院 合津醫院

平町仲田町七一

電話五五九番

緊縮時代

實質本位 精撰食料 吟味調理 薄利多賣 多量購買 經費節約

尖端宴會

圓 會 五品付

半圓 會 三品付

ホール 建一週年紀念出前 惣菜部開設

カレーライス、一〇コロッケ、一〇ハヤスライス、一〇魚フライ、一〇チキンライス、一五カツレツ、一五

丸昌軒

電話四三九

平新川町十九

木村病院

電話一六四

産科 院長 木村寅次郎

婦人科 女醫 木村コウ

内臓外科 醫學士 松永憲一

整形外科 醫學士 萩原駿二

藥局 東京藥學士 萩原駿二

専門内科一般

内科ハ何デモ診療致マス

呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五改(電話一八一番)

川井内科診療所

醫學士 川井重之

女醫 川井安子

滋養、強壯劑として愈々好評

偉大なる藥酒 **栗守酒**

朝の一盃は精力の源泉、晩の一盃は休眠の助力

栗守酒特約店 **大平屋藥店**

代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六二)

温灸

胃腸病 肺病、肥り度い人婦人病 冷え症、慢性諸病に特別

醫學博士廿名推奨

專賣 **ラチウム温灸器**

特許

説明書進呈 定特大金十三圓 價特小 拾圓

特約代理 福島縣平町五、廿八 志賀齒科醫院

治療部 福島縣平町白銀町九 悦子

不景氣蹴飛ばせ

◎五圓均一(革靴)自由修繕

赤、黒、短靴、編上靴でも

◎耐久保證券付革靴

破損三ヶ月以内新品交換

破損十ヶ月は修繕無料

平四丁目(マルトモビル内)

各種高級ゴム長靴

菊地靴店

